

吉川中学校区 小中一貫教育の目指すゴール

家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として 生きてゆく
吉川市教育大綱

具現化

自分を大切にし
郷土を愛し 自らなりたい
自分になるために 他者と協働し
あきらめずに希求し 学び続ける人

自主・自律

P B L ・ 探 究 的 な 学 び

PBL を効果的に行うことで期待できる効果

自己有用感の高まり、達成感の獲得、
心の育成(聞いてもらえる喜び・賞賛する心)

R7

- ・1 分間道徳・2 分間道徳(朝の会・帰りの会)
- ・学級会の計画的な実施(話し合い活動による合意形成)
- ・道徳を中心に教科横断的に(自分事として)35h
- ・スコラ手帳の活用と小学校での試験活用(自己管理能力の育成・手帳甲子園への参加)
- ・1DAY 授業体験、乗り入れ授業(教科・特支)
- ・掃除は心を磨く授業(毎日)
- ・時と場に応じた挨拶、丁寧な言葉遣い、褒める指導
- ・いじめ予防授業の実施(小6・中1～3)
- ・心あたたまるはがきコンクール

R7

- ・小中学校学習系統表の活用(適宜)
- ・全学調(4月)・県学調(5月)の分析・活用
- ・標準テスト(●12月、●1月)の分析・活用
- ・学力向上検討委員会の開催・活用(8月)
- ・授業規律(毎日)【重点】鉛筆・ダブルクリップ
- ・授業改善 教科の特性を生かした
- PBL の効果的な活用(授業公開月間一人一授業:1 学期～3 学期)
- ・「探究型合同授業」を通じた PBL の実践
- ・PBL「探究」について合同研修会(4 月)

PBL を効果的に行うことで期待できる効果

発表する力の向上、聞く態度の醸成、
学力向上(知識のさらなる定着)

学力向上

吉川中学校区教職員合同研修会
及び分科会8部会
(4月および8月)

非認知能力
の向上

R7

- ・ソーシャルスキル、ロールプレイング(学活:学期1回+α)
- ・ハイパーQU(調査・分析)(小5、中1)
- ・「勇者の旅」による非認知能力の育成(小:2 学期)
- ・学校区でのさまざまな作品の展示交流(年1回+α)
- ・生徒会と代表委員会の合同オンライン会議(2 学期)
- ・生徒会を活用した学校紹介等動画配信による交流(年1回)
- ・職業体験の系統的实施(小2(町探検)→小4→中2)
- ・減災意識の向上(減災教育、地域のために行動する力の育成)
- ・地域と行う「避難所開設の補助訓練」の実施(小6・中1)
- ・合同保健委員会・学校運営協議会(保護者・地域を活用した小中一貫教育)

PBL を効果的に行うことで期待できる効果

地域を知り、他者と協働する力の育成、キャリア教育

協働的な学び

社会の一員として、地域や社会の中で自分を生かせる力がある

自分の将来像を根拠をもって説明できる

【目標】第1S最後までがんばる 第2Sねばり強く継続的に努力する 第3S社会に向かって志をもって自己実現する

【目標値(中学校区独自アンケートにて)5月・2月】

- 学校に行くのは楽しいですか 「あてはまる」80%以上
- いじめはいけないと思いますか 「あてはまる」80%以上
- 友達と協力するのは楽しいと思いますか 「あてはまる」80%以上

他者・自然と共に生きる

自分を育てる

不安や困難を乗り越えて、
生活を切り拓くことができる

【目標】

第1S 学校生活で楽しみを見つめる、悩みや不安を周りの人に話し、楽しく学校に通う

第2S 不安や困難を乗り越え、生活を切り拓く
中学校の楽しさを伝える

第3S 新しい生活を自ら切り拓く

【目標値

(5月・12月に調査)】

○自分には良いところがある

5月調査から向上

○将来の夢や目標をもっている

5月調査から向上

学び続ける

自分に合った表現方法で、
自分の考えをわかりやすく伝えられる力
(プレゼン)

【目標】

第1S プレゼン1分
生活習慣+進んで

第2S プレゼン2分
生活習慣+意欲的に

第3S 時間内で(内容
を重視する)

自ら課題を見つけ課題
解決できる内容を

【目標値(県学調)】

○無回答率10%以下

9才のかべ

自己肯定感
の高揚

学力向上

非認知能力
の向上

卒業

充実発展期

習熟・つなぎめ期

中1ギャップ

基礎基本習得・定着期

入学

第3ステージ(中3、中2)

第2ステージ(中1、小5)

第1ステージ(小4、小1)